

ごみの減量化で循環型社会に



一般廃棄物処理基本計画(改訂版)を策定しました

循環型社会とは、ごみをごみとして出さず資源として使えるように、分別するなど適正に処理することで、天然資源の消費を抑え、環境破壊を抑制する社会のことです。これを実現するため、「八千代市一般廃棄物処理基本計画」を23年3月に策定し、循環型社会の形成を目指してきました。今年で5年が経過し、前回より状況や人口推計が変わったため、新たに「八千代市一般廃棄物処理基本計画」の改訂版を策定しました。詳しくは市ホームページをご覧ください。



「4R」を積極的に進めます

新たに策定した「一般廃棄物処理基本計画」では、新たなごみ減量の挑戦目標として家庭系ごみ排出量(資源物を除く)の削減を追加しました。その目標を達成するための方法として今まで実施してきた3R(リデュース・リユース・リサイクル)に、もう1つのR(リフューズ: Refuse)を追加した4Rの取り組みを推進していきます。

4つのRとは?

それぞれがごみの減量の方法となる4つのRは、日常の取り組みが大切です。以前の3Rのうち、「リデュース」はごみの発生を抑制すること、「リユース」はごみにしないように再利用すること、「リサイクル」はごみをもう一度商品にするための資源として利用することです。今回新たに加わった、「リフューズ」は、使い捨ての箸やスプーンなどごみになる物を「受け取らない。もらわない」ように断ることで、ごみをさらに減らそうというものです。

広告

「再くるくん協力店制度」が新しくなりました

4月1日から八千代市ごみ減量協力店制度を改正し、資源を回収している店舗を回収品目に応じて点数化し、ランク付けしました。市が資源物として回収していない物でも、資源物として回収している店舗があります(卵パックなど)。資源物を出すためのルールを守って、ぜひご協力ください。店舗や回収品目など詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲店頭の回収ボックス

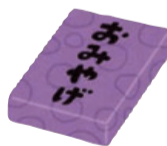


協力店認定証

★★★★	マルエツ八千代中央駅前店、フードスクエアカスミゆりのき台店、コープ八千代店
★★★☆	ヤオコー八千代大和田店、カスミ八千代大和田店、リブレ京成高津店
★☆☆	カメラのキタムラユアエルム八千代台店、ノジマユアエルム八千代台店、ノジマイオン八千代緑が丘店
☆☆☆	魚次ゆりのき店、カメラのキタムラ八千代中央店、クリエイトエス・ディー京成大和田店

包装紙なども資源物になります

包装紙や折込チラシなども、^{ざつ}雑がみとしてリサイクルできます。26年度の可燃ごみのうち約20パーセントが紙類でした。可燃ごみに占める紙類の割合は皆さんの協力により年々減少していますが、まだまだ混在しています。ひと手間かけてごみの減少と資源の有効活用のために適正な分別をお願いします。



広告

私たちが生活している社会は、大量の資源やエネルギーを消費し、大量のごみを排出しています。このごみを処理するため、清掃センターでは、焼却施設の延命化のために基幹的設備等改良工事を行っていますが、焼却炉や最終処分場の処理能力には限界があります。市民の皆さんにはごみの適正な分別・減量に、より一層のご協力をお願いします。この特集についてはクリーン推進課☎483-1151へ

「八千代フリーマーケット」を開催します

八千代フリーマーケット実行委員会では、家庭でいらなくなった物の再利用を目的に、フリーマーケットを開催します。来場の際は、市役所の駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。なお、今回の出店者の募集は終了しています。

▶日時 10月29日(土)午前9時~午後1時30分(雨天時は30日(日)) ▶場所 市役所駐車場

「どーんと祭」でリサイクルフェアを開催

10月15日(土)・16日(日)の「どーんと祭」でリサイクルフェアを実施します。資源物を利用したエコ工作やアンケート、廃食油の回収も行います。ぜひご参加ください。

不燃・有害ごみが一緒に出せます

10月の回収から、不燃ごみと有害ごみを同じ日に出せるようになりました。これまでは「不燃ごみ」「有害ごみ」で各々月1回の収集でしたが、「不燃・有害ごみ」として月2回出すことができます。また、不燃ごみと有害ごみを同じ袋に入れて出せるようになりました。乾電池のみであれば従来どおり、透明の袋(指定袋の外装袋など)に入れて出すこともできます。

※収集日が祝日と重なった場合は収集しません。次の収集日に出してください。

